

■人の手って…

人の手がこんなに温かいということを、私はあります時初めて知った。

今年の10月、突然のがん宣告。心の整理ができ

ぬまま、私は11月26日、

手術台に載った。た

くさんの先生や看護

師さんに囲まれ麻醉

の準備ができるのを

心許ない気持ちで待

っていた。その時、

私の左側にいた看護

師さんが私の手をそ

つと握ってくれた。

何も言わないのでその

手からは「大丈夫、大丈

夫」という声が伝わって

きて、思わず涙がこぼれ

そうになった。

66歳

(高松市 藤本京子・

その温かくて柔らかい

サヌカイト

感触に包まれて、やがて
私は深い眠りに落ちた。

どのくらい時間が経過し
たのだろうか。「藤本さ

ん終わりましたよ」と

いう声で私は目覚めた。

朦朧とする頭で数時間

前のあの手の温もりを

思い出し、その人を搜

すが見つからない。結

局、集中治療室でも病

室でもその人には会え

ぬまま、術後1週間で

退院した。

名前は覚えていない

けれどあの温もりだけは

今もなおしつかりと覚え

ている。私はあなたのそ

の手に救われました。

「サヌカイト」の原稿を募集しています。400字にまとめ、住所、氏名、年齢、電話番号を明記、〒760-8572 四国新聞社生活文化部「サヌカイト」係。ファクス〈087(833)2281〉、メール〈bunka@shikoku-np.co.jp〉でも受け付けます。

■人の手って…

人の手がこんなに温かいということを、私はあります時初めて知った。

今年の10月、突然のが

ん宣告。心の整理ができ

ぬまま、私は11月26日、

手術台に載った。

くさんの先生や看護

師さんに囲まれ麻醉

の準備ができるのを

心許ない気持ちで待

っていた。その時、

私の左側にいた看護

師さんが私の手をそ

つと握ってくれた。

何も言わないのでその手からは「大丈夫、大丈夫」という声が伝わってき、思わず涙がこぼれそうになった。

その温かくて柔らかい

66歳

(高松市 藤本京子・

サヌカイト

感触に包まれて、やがて私は深い眠りに落ちた。どのくらい時間が経過したのだろうか。「藤本さん、終わりましたよ」と

いう声で私は目覚めた。朦朧とする頭で数時間前のあの手の温もりを

思い出し、その人を捜すが見つからない。結

局、集中治療室でも病室でもその人には会えぬまま、術後1週間で

退院した。

名前は覚えていない

けれどあの温もりだけは今もなおしつかりと覚えている。私はあなたのそ

「サヌカイト」の原稿を募集しています。400字にまとめ、住所、氏名、年齢、電話番号を明記、〒760-8572 四国新聞社生活文化部「サヌカイト」係。ファクス <087(833)2281>、メール <bunka@shikoku-np.co.jp> でも受け付けます。

■人の手って…

その温かべて柔らかい

66歳)

そつにふたり。

きて、思わず涙が流れ
夫「どう声が伝わって
の手に教わました。
手からは「大丈夫、大丈
今もおじいじと見え
何も言わぬわけでは
わけおじいじの温さだけ
名前は覚えてない
つと握つてへれた。



師さん私が私の手をそ
私の左側にてて看護
つていた。その時、
心許ない氣持で待
の準備がてれるのを
塞でるものには会え
退院した。

ぬま、私は11月26日、
ん宣告。心の整理ができ
今年の10月、突然のが
い声で私は目覚めた。
ん、終わこまじだ「藤本さ
じじいと、私はあ
人の手がいんみに温か
感觸に包まれて、やがて

きて、思わず涙が流れ
夫「どう声が伝わって
の手に教わました。
手からは「大丈夫、大丈
今もおじいじと見え
何も言わぬわけでは
わけおじいじの温さだけ
名前は覚えてない
つと握つてへれた。



師さんにてて看護
つていた。その時、
心許ない氣持で待
の準備がてれるのを
塞でるものには会え
退院した。

「サヌカイト」の原稿を募集しています。400字にまとめ、住所、氏名、年齢、電話番号を明記、〒160-8572、四国新聞社生活文化部「サヌカイト」係。ファックス〈087(833)2281〉、メール〈bunka@shikoku-np.co.jp〉でも受け付けます。

■人の手って…

その温かべて柔らかい
さつにがつだ。

きて思わず涙が流れ
の手に教わました。
夫」といふ声が伝わって
今もおじりかじり覚え
何も言わなければその
われどおの温もりだけは
手からは「大丈夫、大丈
夫」といふことはない。私はあなたたちを



私の左側にいた看護師さん
ついていた。その時、
心許ない気持ちで待
の準備がてれるのを
くさん先生や看護師さん
手術台に載った。た
ぬま、心の整理ができ
今年の10月、突然のが
いたのがうつか。
じう声で私は目覚めた。
ん、終わりましたよ」と
いじつて、私はあ
人の手がこんなに温か
感触に包まれて、やがて
私は深い眼じに落ちた。
痛みで私は経過し
いたのである。
藤本さん

66歳
(高松市 藤本京子)

退院した。
ぬま、術後1週間で
塞でるものには会え
すが見つからない。
思い出し、その人を探
前のお手の温もりを
捜して、その人の頭で数時
間中治療室でも病
院で待つ。その時、
心許ない気持ちで待
の準備がてれるのを
くさん先生や看護師さん
手術台に載った。た
ぬま、心の整理ができ
今年の10月、突然のが
いたのがうつか。
じう声で私は目覚めた。
ん、終わりましたよ」と
いじつて、私はあ
人の手がこんなに温か
感触に包まれて、やがて
私は深い眼じに落ちた。
痛みで私は経過し
いたのである。
藤本さん

■
「サヌカイト」の原稿を叢集しています。400字にまとめ、
住所、氏名、年齢、電話番号を明記、〒760-8572 四国
新聞社生活文化部「サヌカイト」係。ファックス〈087(833)2281〉、
メール〈bunka@shikoku-np.co.jp〉でも受け付けます。